

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	浜松医科大学大学院医学系研究科医学専攻						
教育プログラム・コース名	新規がん治療開発コース（大学院正規課程）						
対象職種・分野	医師、歯科医師、薬剤師						
修業年限（期間）	医学専攻博士課程 4年						
養成すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本学の特色である光学、ナノツ、イメージング技術などの先端的な研究技術を基盤として、独創的な新しいがん治療法の開発研究を行う人材。</li> </ul>						
修了要件・履修方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必修科目24単位、選択科目6単位以上、計30単位以上を履修する。</li> <li>・ 担当教員と実地修練の担当者による論文指導を受けた上で、教授会が行う論文審査に合格する。</li> </ul>						
履修科目等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必修科目:新規がん治療特論(2単位)、先端基礎医学特論(2単位)、分子生物学セミナーA(6単位)、分子生物学セミナーB(6単位)、分子生物学実習(8単位)</li> <li>・ 選択科目:蛋白質研究法(2単位)ほか 3科目(6単位)以上</li> <li>・ 人を対象とする臨床研究は、参加施設の生命倫理委員会の承認を得た後に、関連するガイドラインに則り進める。公正研究・生命倫理・情報セキュリティ・利益相反に関する講義の受講を必須とする。</li> </ul>						
がんに関する専門資格との連携	直接関連する資格はない						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医学専攻でこれまで実施してきた先端基礎医学特論(基礎医学, 公衆衛生, 遺伝学の最新知見を網羅した必須科目)の内容を大幅に見直し、がんに関連する基礎医学研究の分野を強化して新たに新規がん治療特論を設ける。</li> <li>・ 「光技術の医学応用とイメージング」及び「産学官連携によるものづくり」といった本学の特色を最大限に活かし、光先端医学教育研究センター、国際マスマイミングセンター、産学連携・知財活用推進センター等の研究関連施設との連携により、研究の発展や実臨床への実装を促進することが期待できる。</li> <li>・ さらに創薬アイデアを集約し、分子標的の同定、化合物スクリーニングへの展開、動物モデルを中心とした高次評価系の情報提供、助言等を行い医学研究を推進することを目的として設置された「浜松医科大学創薬基盤システム」を活用し、遺伝子治療薬や免疫療法などの独創的な新規がん治療開発を目指す。</li> <li>・ 参画大学間のネットワークを活用して研究情報の共有及び集約、若手研究者の研究室間の相互交流によって有機的な連携体制が期待できる。</li> </ul>						
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義はポストコトの状態に合わせて対面とオンラインのハイブリッドで実施する。</li> <li>・ 本事業の担当教員ならびに本事業で雇用する特任教員、学外招聘教員によるホリスティック講義を行う。</li> </ul>						
修了者の進路・キャリアパス	本コースで学んだ光学、ナノツ、イメージング技術などの先端的な研究技術を基盤に、大学やがん専門施設・研究所などで、独創的な新しいがん治療法の開発研究を行う研究者として、新規がん治療開発を行う。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数 ※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
		2	2	2	2	2	10
受入目標人数設定の考え方・根拠	過去の大学院志願者数及び入学コースから毎年度2人の志願者が見込まれるため、受入れ目標人数を10人と設定。						